

13
発言No. _____

受付No. 11

令和4年2月15日
10時24分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者
(○をつける)
員長

市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委

発言項目及び要旨

1. 幼児教育の充実について

現在策定中の浜田市教育振興計画（案）の中にも書かれているように、教育を取り巻く環境の変化の中で私たちは浜田市の子どもたちを育てていかなければならない。人口減少を考える中でも教育は大変重要で、浜田市の未来に大きく影響してくる。

(1) 浜田市の幼児教育が目指す姿について

① 子ども教育の中で、特に幼児期からの教育が重要視されている。幼児教育の充実に向け、浜田市において保育所、認定こども園、幼稚園などの幼児教育施設において、全ての子どもに質の高い保育・教育を提供する必要がある。そのためには浜田市の幼児教育が目指す姿を幼児教育施設において共有する必要がある。どのように説明をし、共有しているか伺う。

(2) 幼児教育センターについて

① H30年から島根県幼児教育センターの支援が始まり、浜田市においてどのような支援が行われているのか伺う。
② R5年から浜田市幼児教育センターが設立され、市が中心となり保育・教育の質の向上に取り組むことになるが、どのような取組みを考えているか伺う。

(3) 保育・幼児教育従事者について

① 幼児教育の充実については保育・幼児教育の従事者、すなわち保育士や幼稚園教諭の質の高い人材の確保が必要になる。保育士は以前から不足している状況が続いていると思う。その要因として浜田市の保育士として勤務した方が途中退職をされるというケースも多いと聞くが、保育士を退職される方の状況をどのように把握しているか。

2. 読書の推進について

(1) 図書館サービスの充実について

- ① 浜田市立図書館の基本理念と基本目標について伺う。
- ② 図書館司書について、R2年度から正規職員の内、司書有資格者がゼロになった。図書館全体のサービスの充実に向けて、図書館司書を有する正規職員が必要であると考えているが、所見を伺う。

(2) 子ども読書について

- ① 来年度「第3次浜田市子ども読書活動推進計画」を策定する。学校司書の配置が充実する中で、学校図書館活用教育は推進が進み、学力向上にもつながっていると感じる。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくという、これから子どもたちに必要な力が備わると考える。子ども読書の中で、家庭における未就学児の読書活動の推進についてどのように進んでいるか所見を伺う。
- ② 幼稚園、保育所、認定こども園における読書活動の推進についてどのように進んでいるか所見を伺う。

発言No.

14

受付No.

8

令和4年2月15日

10時12分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、まちづくり推進委員会の体制づくりについて

① まちづくり推進委員会ができ、協働のまちづくりが進められるが、その中心となるまちづくりセンターの具体的な守備範囲や事務分掌を明らかにする必要がある。センター長、まちづくりコーディネーター、市に置く協働推進員、職員地域担当制度は、どのような役割分担を持ち、相互の関係、指揮命令系統、具体的なそれらの連携の仕組みはどのようになるのか。

② 協働のまちづくり推進計画では、活動資金の確保、充実の支援と述べてあるが、まちづくり総合交付金にあわせ、自治会、公民館、社会福祉協議会、消防団などへの会費などはどのように位置付けるのか。まちづくり推進委員会の財政基盤の確立の考え方はどうか。

2、新型コロナウイルスの感染予防態勢と支援について

① 第5波で集団感染が発生したことを教訓として、どう感染予防を呼びかけ改善したのか。再三の呼びかけにもかかわらず、呼びかけが効を奏さなかった原因をどうとらえていて、そこにどのような課題があるのか。

② 濃厚接触者、自宅療養者への健康観察、健康相談、生活支援などは十分行き届いているのか、市の態勢は整っているのか。

3、コロナ禍に対する支援制度の課題について

① 石見神楽社中は持続化給付金の申請ができなかったが、その後継である事業復活支援金が始まっている。要件が緩和されたと喧伝されているが、神楽団体など関係団体と連携して、支援金の申請を応援するなど、文化芸術、地域活動団体などを支援する考えはないか。

② 国の持続化給付金、県の事業継続給付金の対象となっても、浜田市版持続化給付金、中小企業者等応援給付金の対象にならない事例があるが、支給要件の見直し、経済団体との連携の強化、窓口の充実など、相談支援体制の拡充に乗り出す考えはない

か。

- ③ ひとり親家庭で国制度の対象外の家庭への給付金を給付されたが、いまここに至り、生活の実態を把握しているのか、改めて制度化し支援する必要はないか。
- ④ 支援制度の相談、税・保険料・水道料の減免や支払い猶予、生活相談など総合的に対応するため、ワンストップ窓口、総合相談体制をつくる必要があるのではないか。

4、コロナ後を見据えた重点施策の推進態勢について

- ① 島根県も県西部の観光振興に力を入れるとしているが、一向にその気配が見えない。浜田市長は9市町を束ねる石見観光振興協議会の長として「進める」としているが、行政レベルの連携では観光事業の発展に、実効を上げることにはできない。改めて県西部の旗振り役である浜田市として、観光振興の母体づくりに役割を果たすときではないか。
- ② 地域振興には地域資源をいかす、石見神楽を中心に据えた振興策が重要であるが、官民連携、民間主導での本格的な組織が必要であるが、市はこれまで、現行で取り組む、情報収集する、あり方を検討する、にとどまっているが、ここからどう一歩を踏み出すのか。
- ③ 瀬戸ヶ島の陸上養殖事業が検討されているが、マルハニチロとの折衝でひたすら待つのではなく、浜田市としての提案、新たな切り口の提起など、市として強力に働きかけ、事をなし遂げる考えはないか。

発言No. 15

受付No. 17

令和 4 年 2 月 15 日

10 時 54 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 女性活躍推進について

(1) 地域女性活躍推進交付金について

① 国はコロナの影響で様々な問題を抱えている女性に対する支援策として、令和2年度から地域女性活躍推進交付金の事業を行っており、令和3年度も予算が計上されていきました。この事業は「活躍推進型」・「寄り添い支援型」・「つながりサポート型」の3つに区分されていますが、「つながりサポート型」については昨年5月28日に受付終了となっていました。その後追加募集が行われ、この締め切りも11月26日となっておりました。申し込みが少なかったことによる追加募集ということで、いかに国が力を入れているかが伺えますが、浜田市でもこの事業の活用を検討されたか伺います。

② 政府は昨年6月に決定した「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」で、女性のデジタル人材育成の推進を明記しております。内閣府は地域女性活躍推進交付金については、令和4年度も予算要求をされており、ぜひとも「活躍推進型」を活用して、女性のIT人材育成や女性の参画拡大を推進する取組を検討していただきたいと思いますがご所見を伺います。

③ 「寄り添い支援型」については、多様な課題や困難を抱える女性に対する相談支援や、自立支援・就業支援などが挙げられています。取組事例として居場所づくりや、コロナによる女性の雇用や生活への影響、貧困問題や求められる支援の調査分析等が考えられていますが、浜田市での必要性について伺います。

(2) 男女共同参画推進について

- ① 浜田市では平成17年10月1日から「浜田市男女共同参画推進条例」が施行されておりますが、浜田市での取組状況を伺います。

2. 労働者協同組合の取組について

(1) 労働者協同組合の活用について

- ① いよいよ本年10月1日から「労働者協同組合法」が施行されます。この取組については何度かやりとりをさせていただいておりますが、様々な地域で行われている事例を伺うたびに、浜田市が進めている協働のまちづくりにつながる取組だと感じます。担当部局も決まっていなかったようですが、今後どのように進められるのか伺います。

発言No. 16

受付No. 3

令和4年2月14日

// 時 33 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛 尾 昭

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 誰も取り残さないコロナ対策について

1月27日から、県内にまん延防止等重点措置が適用された。コロナ禍は、3年目を迎え悲喜こもごもである。飲食店は、それなりに支援があるが、営業時間によっては、対象外である。また、飲食店と関係ある酒販店や仕入業者も大きな影響を受けている。

① 市長は、この様な不公平感の認識をどの様に受け止めているのか問う。

② 市長は、不公平感のある業界への対策をどの様にお考えなのか問う。

③ 1月31日から、国による事業復活支援金支給事業が始まった。昨年7月の県の事業継続給付金では、県立体育館に窓口があり、ある市民が伺うと、相手にされず、会議所の会員でもないのに、益田の会議所に相談して事無きをえた、と聞いた。今回のサポートセンターは、松江市のみ開設で、西部地域は不便である。しかも、ネット申請のみで、ネット環境のない方にとっては、絶望的な政策である。これでいいのか、市長の見解を問う。

④ 今回の政策は、11月～3月期の売り上げが、前年度、前々年度と比較して50%以上、50%から30%以上が対象である。業界団体を歩いて見ると、売り上げ確保の為に赤字覚悟で出荷している。量販店売上は、巣籠り需要で大幅に伸びているが、実態は非常にきびしいとの、水産加工業界の嘆きである。市長の見解を問う。

2 浜田沖、天然ガスについて

株式会社 INPEX は、石油天然ガスの探鉱・開発事業を手掛ける企業で、日本政府が甲種類株式を保有している。同社は、現在、2期連続配当中で、年間配当は、2年で2.2倍、株価上昇中で556円から1147円をつけている。事務所は駅裏に開設と聞いており、新年早々の朗報である。そこで問う。

- ① 施政方針に、島根県と連携して支援をしていくとあるが、どのような支援なのかについて問う。
- ② 天然ガスが商業ベースに乗るとなれば、パイプラインの設置は、浜田市が有利と思うが、その様な流れになれば、島根県に新たな産業が起こる起点に繋がると思う。港湾計画と整合性のある今後の方向性を問う。
- ③ この問題については、先年、浜田インター沿いの加工団地造成の調査事業が行われたが、実現しなかった。この間、誘致企業の要望にこたえられなかったと聞いている。この際、国・県を巻き込んだ、天然ガス田の開発を円滑に進めるための、後背地整備が必要と思うが見解を問う。

発言No.

17

受付No.

4

令和4年 2月 14日

15時 45分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 商工業の振興について

(1) BUY 浜田運動について

① BUY 浜田運動は、浜田市内で生産・製造・加工された商品を多くの人に買っていただき、消費が増えることによる地域内経済の循環で、域外にお金が出ていくのを抑える目的がある。最近では、BUY 浜田運動の歌やダンスが浜田産で仕上げられ、盛り上がり始めている最中だと認識する。これまでのこの事業に対する検証と今後の取組の考えについて問う。

2 若者対策について

(1) 起業家を育む環境・基盤について

① 浜田市では、地域で活躍する若者を応援するため、若者が起業した場合の起業時補助金の制度があるが、近年の実績と課題について現状認識を問う。

(2) 島根県立大学の「浜田を元気にするアイデアコンテスト」について

① 浜田を元気にするアイデアコンテストについては、これまで大変多くの県立大学生の柔らかい頭脳と感性で、すばらしいアイデアが毎年発表されてきた。このアイデアの実現に向けたフォローと今後の考え方について問う。

3 緊急時の情報伝達手段について

① 地震や豪雨など自然災害、人的災害、感染症災害など予期せぬ災害が、いつ起こってもおかしくない時代にいると認識している。これまでも多くの議員が一般質問を行っているが、今考えている計画と実施までの期間について問う。

